

立川第五中学校建替事業

新校舎等の基本設計に関する説明会での意見要旨

日時	会場	参加者
令和 8 年 7 月 3 日（金） 19：00～20：00	第五中学校 図書室	10 名
令和 8 年 7 月 4 日（土） 10：00～11：00	第五中学校 図書室	4 名
合 計		14 名

1. 主なご意見・ご質問等（同様の意見等はまとめています。）

【新校舎等の工事について】

（質問）施工業者は決定しているか。

（回答）まだ決まっています。

（質問）生徒が新校舎を利用し始めるタイミングを教えてください。

（回答）設計事業者の提案の中での計画では、令和 12 年の 1 月から新校舎の利用を開始する想定です。現在の小学 6 年生が、中学 3 年生の冬休み明けから新校舎に移ることとなります。なお、旧校舎の解体やグラウンド整備まで含んだ工事がすべて終了する日程は、令和 13 年 12 月を想定しています。

（質問）解体後のがれきの搬出ルートはどこからか。北側道路は狭いため使用しないでほしい。

（回答）現状、解体フェーズの車両出入口は既存の正門を利用する想定です。そのため、東側道路を使用し、北側道路は使用しない計画としています。施工業者決定後の検討によっては、変更の可能性もあります。

（質問）新グラウンドの野球の配置はどのようになるか。

（回答）敷地の北東角にバックネットを配置する予定です。

（質問）現校舎解体の際の害獣・害虫対策を教えてください。

（回答）解体工事開始前に、害獣・害虫の駆除を入れる予定です。

【災害時利用について】

（質問）災害時に利用できる水についてはどのように計画しているか。

（回答）災害時は、受水槽の貯留分と防災備蓄倉庫に保管するペットボトル水 10t が利用可能な計画を

想定しています。

【新校舎のプランについて】

(質問) ソラニワのイメージが分からなかった。屋根はあるのか、ガラス張りのような空間となるのか、どのような使い方となるのか。

(回答) ソラニワは、校舎の 1 階から 3 階までつながる外部空間としており、屋根はない計画です。窓に関しては、2・3 階の教室に面している部分は、腰壁を設ける想定としており、ガラス張りとはしない計画です。使い方としては、図書室と連携して、屋外の読書スペースとすることを検討しておりますが、詳細は学校との協議により決定していきます。

(質問) 職員室が 2 階にある計画となることは決定事項か。周辺の学校施設でも職員室が 2 階にある事例を見かけるが、教員の指導上負担になっていると見受けられる。

(回答) 市で定めた学校施設の標準仕様において、水害時に浸水の恐れのある場合、職員室は重要書類の保全等のため 2 階の適切な位置を検討すると定めています。そのため、敷地が浸水地域に該当する本計画も職員室は 2 階として計画を進めます。また、保健室や事務室を 1 階に配置することで、管理面に配慮しています。

(質問) 特別支援学級が 2 階にあることについて、実際に働いている教員から出た意見を教えてほしい。

(回答) 中には反対の意見もありましたが、最終的には新しい特別支援の形として納得している形です。また、これまでの特別支援の在り方に比べて、行動範囲を広げてあげられるという意味もあり、採用を前向きに考えています。

(質問) 床材は何を想定しているか。生徒の嘔吐の処理等を考えると、フローリングは避けた方が良いのではないかと思っている。

(回答) 現状、フローリングで計画予定ですが、今後、汚れに強い素材とのメリット、デメリットの比較をしながら、採用する床材を決定します。

(質問) 教室が南面採光でない部分があるが、採光については問題ないか。

(回答) できる限り教室は南面に配置しながら、その他の方向を向く教室に関しては、校庭や道路等の広がりがある方向からの採光となるように配慮しています。また、照明には LED 照明を導入して照度を十分に確保する計画とします。

(質問) 登校が難しい生徒の居場所となる場所は計画しているか。

(回答) 会議室や PTA 室などの継続利用がない部屋を、登校が難しい生徒が利用する部屋として転用可能な計画としています。

(質問) 特別支援学級のエリアにゆとりができた印象を持っている。学級数を増加する予定はあるか。

(回答) 特別支援学級の学級数は、その時々希望者数と在籍数で適宜決定する方針としています。

(質問) 新体育館の広さは、旧体育館と変わるか。

(回答) 新体育館は、旧体育館と同じ規格で設計しているため、大きさは変わらないです。

【外構計画について】

(質問) 北側住宅街に校庭が面するようになることについて、行ってきた対策を教えてください。

(回答) 校庭からの音（生徒の声や作業時の音等）については、建物の計画による対処は難しいという実情があります。これからも説明会等を通じて、お住まいの方に周知していきます。砂埃については、風で飛びにくい砂の選定や、校庭の周囲に計画する防球ネットの一部に、砂塵を防ぐことができるものを設置する等の対策を考えています。

(質問) 校庭の水はけはどのように考えられているのか。周囲の道路に雨水が流れ出ることのないようにしてほしい。

(回答) 校庭には排水管を埋設し周囲には側溝を設けることで、校庭への雨水が周囲に流出しない計画とします。

(質問) 残堀側沿いの遊歩道は敷地より高い位置にあるが、この通路からの雨水が校庭に流入しないような対策はあるか。

(回答) 当該レベル差の部分には、擁壁を設ける計画としています。擁壁は、残堀川沿いの通路レベルより高く立ち上げることで、敷地に雨水が流入しない計画とします。

(質問) フェンスはどのラインで設置するよう考えているか。

(回答) 基本的には、敷地の境界に沿って配置します。敷地南東の駐車場部分のみ、地域の皆様が利用しやすいように、フェンスの外に計画しています。

(質問) スポーツ団体の利用が多く、駐車場の台数が足りないことが考えられるが、対策はあるか。

(回答) 駐車場台数は増やす予定はありません。そのため、学校を訪れる際は、車以外の手段として頂くか、なるべく乗合して頂くなどのご協力を賜りたいと考えています。

【行事・部活動などの活動場所について】

(質問) 工事中も体育館利用は継続して可能か。

(回答) 現状の計画においては、新校舎の体育館建設後に旧体育館を解体しますので、継続した利用が可能と考えております。ただし、実際の工事が始まった際に計画の変更が必要となった場合は、この限りではありません。

(質問) 工事期間中の校庭を利用する体育の授業、部活動の活動場所について想定を教えてください。

(回答) 工事期間中は、校庭が現状の 1/3 程度しか利用できませんが、体育の授業はこの利用可能な面積で行う想定です。部活動については、代替地を検討しています。具体的な場所として、近隣小学校（九小、大山小、上砂川小）の校庭や、近隣の体育施設等を想定しています。また、その他の代替地についてのご意見がありましたら、ぜひ地域の方々から頂戴したいと考えています。

(質問) プールの利用はどのような対応となるのか。

(回答) プールは現状の計画上、令和 10 年度から 12 年度までの 3 年間、利用不可となります。生徒の 3 年間の中学校生活のうち 1 年はプールが利用できるように、代替地を検討しています。

(質問) 工事期間中の運動会はどこで行う想定か。

(回答) 現在代替地を検討中です。生徒約 650 人と保護者の方々が入ることができる規模で検討中ですが、少し学校から遠くなってしまう可能性があります。

2. 意見提出用紙（会場アンケート）

<出席者の属性>

学校との関係	7月3日 (金)	7月4日 (土)
第五中学校の生徒の保護者	1	1
第五中学校に入学予定の子どもの保護者	1	2
保護者以外で上砂町、一番町又は砂川町に在住	5	1
その他	2	0
未回答	1	1
計	10	5*

* 2項目に該当する出席者ありのため、総計が参加者数を超過しています。

お住い	7月3日 (金)	7月4日 (土)
上砂町	7	1
一番町	2	2
砂川町	0	0
上砂町、一番町又は、砂川町以外で立川市内	0	0
立川市外	0	0
未回答	1	1
計	10	4

<いただいたご意見>

- ・ 見た目にこだわって、実際に使用する素材が安く、低質なものにならないようにしてほしい。
- ・ 生徒に負担がかからないように建設を進めてほしい。
- ・ 建設の月日が長くないようにしてほしい。
- ・ 授業や部活を安全に継続できる計画とされていることが分かってよかった。
- ・ 新しい地域のシンボルとして建て替えされるのを楽しみにしている。
- ・ これまで通り、地域団体に開かれた学校であり続けることを願っている。
- ・ 現状の校舎と校庭の位置関係が逆転することについて、近くに住んでいるため、校庭の形や水はけに関しては、周辺に迷惑が掛からない計画としてほしい。
- ・ 現校舎の解体時には害獣・害虫の駆除をしっかりと行ってほしい。
- ・ 工事期間中に子どもが入学するため、現状不安が多い。部活動や行事、外での活動について、入学予定の子どもを持つ保護者により伝えていってもらえると、少しは安心できると思う。
- ・ 大変な工事と見受けられるが、未来を担う子どもたちのために、しっかり遂行してほしい。
- ・ 保護者として、一度しかない子どもの中学校生活をより良い環境で過ごせるように、アスベストや部活動の場所等について、各所でしっかり協議して、地域に説明してほしい。協力できることはしていきたい。